平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月12日

上場会社名　株式会社 東京一番フーズ　　上場取引所　東
コード番号　3067　　URL　http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）坂本　大地
問合せ先責任者（役職名）取締役副社長　（氏名）井野　一三美　TEL 03-5363-2132
四半期報告書提出予定日　平成23年5月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績（平成22年10月1日～平成23年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	2,178	△9.9	303	△38.5	313	△37.3	151	△25.0
22年9月期第2四半期	2,417	△10.5	494	△15.5	499	△14.7	201	△38.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	1,818.41	1,767.10
22年9月期第2四半期	2,430.53	2,356.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	1,805	1,215	66.3	14,396.58
22年9月期	1,541	1,057	67.9	12,580.65

（参考）自己資本　23年9月期第2四半期　1,197百万円　22年9月期　1,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	0.00			
23年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年9月期の連結業績予想（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,095	△12.8	△137	—	△141	—	△75	—	△905.74

（注）当四半期における業績予想の修正有無　有

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月12日に公表した業績予想を本日付けで修正しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに特別損失計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他　（詳細は、【添付資料】P3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）詳細は、3ページ【その他の情報】をご覧ください。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）詳細は、3ページ【その他の情報】をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期2Q	84,085株	22年9月期	84,055株
② 期末自己株式数	23年9月期2Q	875株	22年9月期	875株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期2Q	83,205株	22年9月期2Q	83,045株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項にについては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 5
（第２四半期連結累計期間） …… 5
（第２四半期連結会計期間） …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における日本経済は、新興国市場の需要拡大や経済対策等により緩やかな回復基調にあったものの、円高の進展に伴う輸出の減速、個人消費の落ち込みにより、足踏み状態となりました。さらに、３月には東日本大震災が発生したことを受けて、経済活動が急速に落ち込みました。

外食業界においては、雇用環境の不安による消費者の節約志向や企業間の価格競争など、企業を取り巻く経営環境は大変厳しい状況が続きました。

この環境の中、当社グループは、中核事業の「とらふぐ亭」及び新業態の「おいしい魚と寿司の店　魚の飯調布店」、「ふぐよし総本店」において食材・サービス・店舗空間に徹底してこだわり、リーズナブルで質の高い食材やサービスを提供することに注力してまいりました。また、子会社の株式会社長崎ファームにおいて活魚や養殖マグロの外部販売事業を開始しております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は子会社の長崎ファームの外販事業の貢献があったものの、「とらふぐ亭」は計画停電等の影響も受け、21億78百万円（前年同期比9.9％減）と減収となりました。利益面は経費内容を見直し、削減に努めましたが、減収とふぐ原価率の上昇により、営業利益３億３百万円（同38.5％減）、経常利益３億13百万円（同37.3％減）となりました。四半期純利益につきましては、十分なキャッシュ・フローが上げられないと見込まれる店舗の減損損失47百万円及び子会社長崎ファームが貸付けた貸付金の回収可能性を考慮し、貸倒引当金10百万円を特別損失として計上し、１億51百万円（同25.0％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて２億81百万円増加し、９億91百万円となりました。これは主に、現金及び預金３億65百万円が増加したことによるものです。

（固定資産）

当第２四半期末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、８億13百万円となりました。これは主に、減価償却費14百万円を計上したことによるものです。

（流動負債）

当第２四半期末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて93百万円増加し、４億28百万円となりました。これは主に、未払法人税１億10百万円が増加したことによるものです。

（固定負債）

当第２四半期末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて12百万円増加し、１億61百万円となりました。これは主に、長期前受収益が38百万円増加し、社債が23百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第２四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べて１億57百万円増加し、12億15百万円となりました。これは主に、四半期純利益１億51百万円を計上したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第１四半期連結会計期間末に比べ65百万円増加し、７億68百万円となりました。当第２四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は１億34百万円（前年同四半期より67百万円の収入減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益57百万円、減損損失39百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間において投資活動により使用した資金は72百万円（前年同四半期は10百万円の増加）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出41百万円、貸付による支出22百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間において財務活動の結果得られた資金は３百万円（前年同四半期は23百万円の支出）となりました。主な要因は、長期借入金による収入10百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年９月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月12日に公表した業績予想を本日付で修正しております。詳細につきましては、本日公表の「第２四半期連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに特別損失計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なることがあります。

その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

表示方法の変更

四半期連結損益計算書関係

前第２四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「協賛金収入」は、当第２四半期連結累計期間において営業外収益総額の100分の20を超えたため、区分掲記することといたしました。なお、前第２四半期連結累計期間の「協賛金収入」は、1,111千円であります。

前第２四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「債務勘定整理益」は、当第２四半期連結累計期間において営業外収益総額の100分の20を超えたため、区分掲記することといたしました。なお、前第２四半期連結累計期間の「債務勘定整理益」は、1,085千円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第２四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873,662	507,756
売掛金	42,795	51,563
原材料	23,753	15,930
その他	51,396	135,137
流動資産合計	991,608	710,388
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	193,039	212,545
その他（純額）	197,251	208,795
有形固定資産合計	390,291	421,341
無形固定資産		
ソフトウエア	2,712	954
無形固定資産合計	2,712	954
投資その他の資産		
敷金及び保証金	370,688	367,833
その他	60,992	40,904
貸倒引当金	△10,739	－
投資その他の資産合計	420,941	408,738
固定資産合計	813,945	831,034
資産合計	1,805,553	1,541,422
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,835	43,477
1年内返済予定の長期借入金	18,564	17,136
1年内償還予定の社債	31,000	16,000
未払法人税等	116,934	6,469
賞与引当金	－	12,273
その他	219,578	239,674
流動負債合計	428,913	335,031
固定負債		
社債	38,500	61,500
長期借入金	59,445	59,560
負ののれん	12,013	14,588
その他	51,552	13,043
固定負債合計	161,511	148,691
負債合計	590,424	483,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,310	466,220
資本剰余金	368,310	368,220
利益剰余金	393,658	242,357
自己株式	△30,339	△30,339
株主資本合計	1,197,939	1,046,458
新株予約権	17,189	11,241
純資産合計	1,215,129	1,057,699
負債純資産合計	1,805,553	1,541,422

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）
売上高	2,417,825	2,178,564
売上原価	646,452	692,029
売上総利益	1,771,372	1,486,534
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	291,893	291,167
雑給	204,139	178,594
賞与引当金繰入額	1,883	－
広告宣伝費	25,414	16,900
販売促進費	8,496	8,472
減価償却費	39,056	25,915
不動産賃借料	249,273	218,695
その他	457,125	442,997
販売費及び一般管理費合計	1,277,281	1,182,743
営業利益	494,091	303,791
営業外収益		
受取利息	120	178
協賛金収入	－	2,230
負ののれん償却額	2,574	2,574
債務勘定整理益	－	2,768
その他	6,099	3,077
営業外収益合計	8,794	10,829
営業外費用		
支払利息	1,747	1,076
その他	1,414	368
営業外費用合計	3,162	1,445
経常利益	499,722	313,174
特別利益		
国庫補助金	4,239	－
固定資産売却益	6,244	7,798
特別利益合計	10,484	7,798
特別損失		
固定資産除却損	174	－
減損損失	97,691	47,692
固定資産圧縮損	3,506	－
貸倒引当金繰入額	－	10,739
特別損失合計	101,372	58,431
税金等調整前四半期純利益	408,835	262,540
法人税、住民税及び事業税	207,786	111,239
法人税等調整額	△793	－
法人税等合計	206,992	111,239
少数株主損益調整前四半期純利益	－	151,300
四半期純利益	201,843	151,300

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）
売上高	1,200,454	991,449
売上原価	350,505	313,640
売上総利益	849,949	677,809
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	142,157	144,997
雑給	96,558	79,547
賞与引当金繰入額	1,883	－
広告宣伝費	10,150	6,391
販売促進費	2,905	3,905
減価償却費	16,858	14,515
不動産賃借料	123,739	108,594
その他	217,015	218,061
販売費及び一般管理費合計	611,267	576,014
営業利益	238,681	101,795
営業外収益		
受取利息	108	121
協賛金収入	988	1,115
受取賃貸料	－	1,641
負ののれん償却額	1,287	1,287
その他	463	2,265
営業外収益合計	2,847	6,430
営業外費用		
支払利息	819	520
その他	448	171
営業外費用合計	1,268	691
経常利益	240,260	107,533
特別利益		
国庫補助金	4,239	－
固定資産売却益	6,244	－
特別利益合計	10,484	－
特別損失		
固定資産除却損	63	－
減損損失	6,484	39,658
固定資産圧縮損	3,506	－
貸倒引当金繰入額	－	10,739
特別損失合計	10,054	50,397
税金等調整前四半期純利益	240,691	57,135
法人税、住民税及び事業税	132,840	45,392
法人税等調整額	△793	－
法人税等合計	132,046	45,392
少数株主損益調整前四半期純利益	－	11,742
四半期純利益	108,644	11,742

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	408,835	262,540
減価償却費	39,056	25,915
減損損失	97,691	47,692
負ののれん償却額	△2,574	△2,574
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	10,739
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,294	△12,273
受取利息及び受取配当金	△120	△178
支払利息	1,747	1,076
固定資産除却損	174	－
固定資産売却損益（△は益）	△6,244	△7,798
売上債権の増減額（△は増加）	△53,450	8,768
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,747	△7,823
仕入債務の増減額（△は減少）	47,495	△642
その他	67,921	144,685
小計	585,490	470,129
利息及び配当金の受取額	120	178
利息の支払額	△1,766	△1,097
法人税等の還付額	1,954	4,273
法人税等の支払額	△12,998	△3,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,800	470,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,609	△6,000
定期預金の払戻による収入	5,409	1,200
有形固定資産の取得による支出	△3,484	△63,780
有形固定資産の売却による収入	7,000	－
貸付けによる支出	－	△22,740
貸付金の回収による収入	－	1,062
長期前払費用の取得による支出	△4,758	△6,762
その他	5,268	△5,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,825	△102,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	10,000
長期借入金の返済による支出	△41,901	△8,687
社債の償還による支出	△8,000	△8,000
株式の発行による収入	－	180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,901	△6,507
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	525,724	361,106
現金及び現金同等物の期首残高	371,425	407,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	897,149	768,939

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

当連結グループは、直営店舗である「泳ぎとらふぐ料理専門店　とらふぐ亭」の運営を主たる業務とする単一事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年３月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

当社グループは、主として直営店舗である「泳ぎとらふぐ料理専門店　とらふぐ亭」の運営及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。